

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

地域の区長に寄せられる情報は、多岐にわたる対応に苦慮する事がある。今年頻繁に連絡いたたけのが河川への不法投棄の案件だ。

春先から、毎日のように地区内のゴミ止め柵に流れ着くビールの空き缶だ。同じ銘柄の缶ビールの空き缶は、同じ人物の行為と思われるのだが、飲み終わったビール缶を日々、農業用水路に投げ入れる行為の連続は、定住している関係者に違いはない。自然を好んで白馬に住む事を選択した人物の行う行為なのか疑ってしまう。行政に現場写真を添えて不法投棄を連絡、河川へゴミを捨てる行為は、「河川法施行令」の他、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」「軽犯罪法」などの関係法令

で厳しい罰則規定が設けられている。ぜひ、警察等へ通報して厳しく罰してほしいと願っている。

最近プラスチックを原因とした海洋汚染問題は多い。しかし河川下流域の地域にゴミが流

れる。一人ひとりがゴミの胃から重さ8kgを超えるポリ袋が見つかり、国民に衝撃を与えた。世界の海に捨てられるプラスチックは年800万ト、500kg以上入りのペットボトル換算で3200億本分と推計されている。これら

で厳しい罰則規定が設けられている。ぜひ、警察等へ通報して厳しく罰してほしいと願っている。

最近プラスチックを原因とした海洋汚染問題は多い。しかし河川下流域の地域にゴミが流

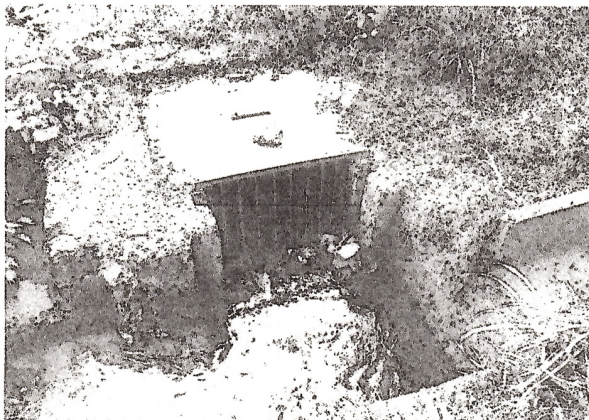
れる。一人ひとりがゴミの胃から重さ8kgを超えるポリ袋が見つかり、国民に衝撃を与えた。世界の海に捨てられるプラスチックは年800万ト、500kg以上入りのペットボトル換算で3200億本分と推計されている。これら

身近な環境問題の対応が私たちを取り巻く生活環境の保全にも大切だ

れつく状況は多い。長年、国道沿いのゴミ拾いをしていくが、通過車両から歩道部分に投げつけられる大量の不法投棄のゴミが、風によって国道側溝に飛ばされ、下流に流される現状を多く見続けてい

産経妙のコラムがこの問題をとり上げた。カリフ海に浮かぶドミニカ共和国の海岸には連日、大量のプラスチックゴミが押し寄せる。シュベルカーでかき出して追いつかない。タイでは死んだクジラ

のゴミはやがて細かく砕かれ、食べた魚を通じて人間の体に入り込む可能性もある。欧州連合はストローなどの使い捨てプラスチックの使用を禁止する規制案を公表した。米国の大手コーヒー



JR大系線サイホンを守るゴミ止め柵に毎日のように流れ着く缶ゴミの臭きが聞こえてきそうだ

チェーンもストローの使用をやめると伝えられた。便利な消費社会で生活する私たちの日常生活行動から引き起こす多くの諸問題が何なのか考えなくては、

毎日のように流れ着くビール缶を見て酷暑の日差しがまるで怒っているように感じた。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)